

# 千葉動力車



# 新ガイドライン関連法案 有事立法上程弾劾



4月28日、橋本内閣は、新安  
保ガイドライン関連法案の閣議  
決定を強行し国会に提出した。  
有事法制がいに公然と姿を  
あらわしたのだ。われわれは、  
重大な歴史の転換点にたつた。  
何としても、法案の成立を阻止  
しなければならない。

## 恐るべき有事法

法案は、①「周辺事態法案」の  
制定、②自衛隊法の改悪、そし  
て③日米兵たん協定(ACSA)  
の改悪の三項目からなっている。

## 地球上の全地域!

とくに周辺事態法案は、「我  
が国周辺の地域における我が国  
の平和及び安全に重要な影響を  
与える事態」などという、どの  
ようにでも拡大解釈できる定義  
をもって、自衛隊が参戦すると  
いう恐るべき法案だ。「周辺」と  
は、事実上、無制限に地球上の  
全地域ということになる。

## 国会の承認もなし

しかも、その際に国会の承認  
すら必要とされない。首相の判  
断、閣議の決定ひとつで自衛隊  
が戦争に出動するのだ。  
法案には、あらゆる項目に「  
その事態に応じ合理的に必要と

判断される限度で武器を使用す  
ることが出来る」という文言が  
もり込まれている。  
日米政府は、新ガイドライン  
の想定する戦場が朝鮮半島であ  
ることを公然とおしだしている。  
関連法は、まさに朝鮮・アジア  
事実上の宣戦布告である。

## 国家総動員を義務に

また、港湾・空港・医療・輸  
送機関など、地方自治体等の機  
能と、そこに働く労働者を戦争  
のために動員することも義務づ  
けられている。日本はついに、  
戦争をすること、戦争のできる  
国家として登場することを内外  
に宣言したのだ。

## 戦後憲法体系の破壊

これは、戦後憲法体系を完全  
に破壊する重大な攻撃だ。「武  
力行使にあたるものではない」  
「憲法に抵触しない範囲で」な  
ど、まさにベテレンである。

すでに新聞では、「より本格  
的な有事立法」の検討が開始さ  
れていると報じられている。P  
KO派兵法案の改悪も、すでに  
国会に上程されている。全力で  
闘いに立ちあがろう。新ガイド  
ライン関連法案は有事立法の何  
としても成立阻止しよう。

## 労基法の改悪!

労働基準法の改悪に向けた国  
会審議がはじまった。また、派  
遣労働の全面的な自由化を内容  
とした労働者派遣法の改悪案も、  
近々のうちに国会に上程されよ  
うとしている。

## 8時間労働制の解体

法案の骨子は、第一に、8時  
間労働制を根幹から否定するも  
のだ。①何時間働こうが、仕事  
の成果に対して8時間働いたと  
見なして賃金を払う裁量労働制  
の適用を拡大し、②変形労働時  
間制の上限規制を緩和し、③時  
間外・休日労働に対する規制も  
解体して、労働者に、際限のな  
い長時間労働を強制しようとい  
うのである。

## 終身雇用制度の解体

第二に、終身雇用制度を解体  
し、ほとんどの労働者を不安定

## 労働組合の否定

第三は、労働組合の否定と解  
体だ。今回の法案には、「組合  
を相手にしない」という発想が  
貫かれている。有期雇用制度の  
導入、裁量労働の拡大、派遣労  
働の自由化は、まさに労働組合  
の否定に扉を開く。また、新設  
される「労使委員会」の決議がす  
べての労働条件を決定するとい  
う仕組みは、労働三権を否定す  
るものだ。さらに、「紛争解決  
援助」と称して、労基署に労働  
組合への介入権限を与えるとい  
うのだ。これは、戦前型の監督  
行政の復活を意味するものだ。  
有事立法と労働法制の改悪は、  
まさに一体の攻撃である。

## 資本主義にNO

失業率は戦後最悪の3・9%。  
大失と戦争の時代が到来しよう  
としている。首切り、リストラ、

賃下げ、労働法制の改悪、年金  
・医療など社会保障制度の切り  
捨て、そして有事立法。これま  
での社会のあり方が覆され、労  
働者の地位に決定的な一撃が加  
えられようとしている。  
背景にあるのは、手の施しよ  
うもない資本主義体制の危機だ。  
労働者を食わしていくことがで  
きないような社会、ついに戦争  
に向けて突進しはじめたような  
国家には引導を渡すしかない。  
闘わなければ生きていくことが  
できない時代が到来しようとし  
ている。資本主義NOと言える労  
働運動を創りあげよう。

## 今日はメーデー

一八八六年五月一日、アメリ  
カの労働者が、8時間労働制を  
求めてゼネストに立ちあがった。  
「仕事をほっぽりだそう/生命  
をつなぐだけの金で働くこと  
には疲れきってしまった/工場  
から仲間を呼び集めよう/第一  
の8時間は仕事のために/第二  
の8時間は休息のために/第三  
の8時間は俺たちの好きなこと  
のために!」(8時間労働日の  
歌) ———— デモや集会には  
警官が襲いかかった。多くの労  
働者が射殺され、デッチあげで  
八名の指導者が処刑された。メ  
ーデーは、この事件をきっかけ  
に、8時間労働制の確立を求め  
る国際的な統一闘争として始ま  
った。それから一三〇年。いま  
た、血を流してかちとつた8時  
間労働制が解体され、戦争への  
歩みが始まろうとしている。  
今こそ闘いへ!